



ニッチプログラムアフィリエイト

サイト完成編

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。
できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)
<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意いただきご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。
著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を
いかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、
この商材の全部又は一部をいかなる手段においても
複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、
関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、
民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。
著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、
見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、
万一誤り、不正確な情報等がありましても、
著者・パートナー等の業務提携者は、
一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、
著者・パートナー等の業務提携者は、
一切の責任を負わないことをご了承願います。

◎目次

【サイト完成後のイメージ】	4
■意外と重要！ 文字装飾	6
【メタキーワードを設定しよう】	9
【メタディスクリプションを設定しよう】	10
【相互リンクを募集しよう】	12
■受付フォームの設置	14
■相互リンク募集ページに必要な3つのポイント	25
■相互リンクページ作成の時短テクニック	29
【一応アフィリエイトリンクを貼ろう】	33
【サイト分析の要！ アクセス解析の設置】	35
■忍者アクセス解析	37
■Google Analytics（グーグルアナリティクス）	38
■i2i（アイツーアイ）	39
■どれを使うか迷ったら…	40
【サーバー上へアップしよう】	41
【最後が大事！ サイトのチェック】	43
■サイト内を実際に見てみる	44
■HTML 構文のエラーをチェックしよう	45
■キーワードの出現頻度を確認しよう	48
【すべてを終えたら】	55

【サイト完成後のイメージ】

これまでの作業でサイトタイトルを決め、ドメインなどの設定をし、各記事を書き上げていきました。

サイト作成もいよいよ大詰めで、これから記事の装飾やアフィリエイトの設置などの作業を行いサイトを完成させます。

作業がイメージしやすいように完成後のサイト画像をお見せしますね。



<http://www.poiparental.net/>

例えば上記のようなバッティングをテーマにしたサイトを立ち上げたとします。これを事例としてみていきましょう。なお、上記はサイト立ち上げ当初の画像となります。リニューアルを重ね現在は下記のような状態となっております。



N P A教材の中では、サイト立ち上げ当初のころをベースにした解説を行っておりますが教材内容実践にあたり支障は何もございませんのでご安心ください。

■意外と重要！ 文字装飾

サイト完成後のイメージができたと思うので、
文字の装飾を行っていきます。

装飾は文字の**大きさ**、**太さ**や**色**を変えたり、
イエローマーカーを引いたりして行います。

そもそも、なぜ装飾を行うかというと、

- ・読者が読みやすく、理解しやすくなるため
- ・SEO 対策になるため

という理由があるからです。

まず前者ですが、装飾がない全部同じ黒い文字の文章だと、
重要な箇所がハッキリしませんし、記事にメリハリがなくなります。

当然、読者も読みにくいですし、内容を理解しにくくなります。

下記に例を出しますが、どちらが読みやすくて理解しやすいでしょうか。

パターン1

バッティングの上達法ナビ

「自分にはバッティングセンスがないんだ」と諦めていませんか？

確かに、バッティングには、センスも必要でしょう。

しかし、当然、センスだけでは、上達できません。

大事なのは、基本を抑えて、目指すバッタータイプに合った打ち方を習得することです。

さて、あなたがバッティングの上達を目指す理由は何ですか？

「4番バッターになりたい！」「もっとヒットを打ってチームに貢献したい」というアマチュア野球プレーヤーの方が多いのでしょうか。

パターン 2

バッティングの上達法ナビ

「自分にはバッティングセンスがないんだ」と諦めていませんか？

確かに、バッティングには、センスも必要でしょう。

しかし、当然、センスだけでは、上達できません。

大事なのは、基本を抑えて、目指すバッタータイプに合った打ち方を習得することです。

さて、あなたがバッティングの上達を目指す理由は何ですか？

「4番バッターになりたい！」「もっとヒットを打ってチームに貢献したい」というアマチュア野球プレーヤーの方が多いのでしょうか。

ほとんどの方は、前者より後者の方が読みやすいと感じたはずです。

また装飾がまったくない記事だと、
サイトに訪問した途端、読む気が落ちて
サイトを閉じられる可能性も増えます。

このように装飾でメリハリをつけてあげると、
読者も記事を読みやすくなるので、ぜひやってみてください。

なお、何色で装飾すべきとか、特に装飾方法に決まりはありませんが、
読者のために行うので読みやすく目立つ装飾をすることが大事です。

続いて、SEO 効果についてお話をします。

太字表示されるタグなどは、
検索エンジンに重要な部分と判断され、
SEO 効果があると言われています。

以前ほど効果はないと言われていますが、
強調したい部分にタグを使えば、
太字になり、読者が読みやすくなるので、
使って損はないと思います。

なお装飾する際、装飾のし過ぎには注意してください。

装飾範囲が多すぎると、読者も本当に重要なのは
どこなのかわかりにくくなりますし、
SEO 的にも逆効果になりかねません。

明確なラインはありませんが、不自然にならない程度に行ってください。

【メタキーワードを設定しよう】

続いて、メタキーワードの設定をしていきます。

メタキーワードとは、サイトと関連性の高い単語を入れて、検索エンジンにどんなサイトなのか知らせるものです。

通常、直接サイトを目で見ても確認できませんが、サイトのソースを見ると、上部に下記のような記述があります。
※詳しくは後述しますが、ソースとはサイトを構成するために HTML タグで記述された文字列のことをいいます

```
<meta name="keywords" content="●">
```

この●の部分に記載されている単語がメタキーワードになります。

今回作成したサイトでも、5つのメタキーワードを設定しています。

※サイトのソースを見るには、サイト上で右クリックして「ソースの表示」を選択します。

```
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/1999/xhtml" [
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS" />
<title>バッティングの上達法ナビ</title>
  <meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
  <meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
  <meta name="keywords" content="バッティング, 上達, コツ, フォーム, 練習" />
  <meta name="description" content="バッティングを上達させるために、必要なこと。" />
  <link rel="stylesheet" href="./styles.css" type="text/css" />
  <link rel="alternate" type="application/rss+xml" title="RSS" href="http://www" />
</head>
```

※今回作成したサイトのソースです

当然、メタキーワードは検索エンジンにサイトと関連性が高いと認識されますが、最近ではあまり効果がないとも言われています。

ただ、マイナス評価を受けるわけではないので、設定しておくだけ設定しておいた方がよいでしょう。

あまり多く入れすぎると、キーワードのパワーが分散しますので、3～5個くらいがベストです。

メタキーワードの設定方法はサイト作成ツールによって異なりますので、確認をして設定してください。

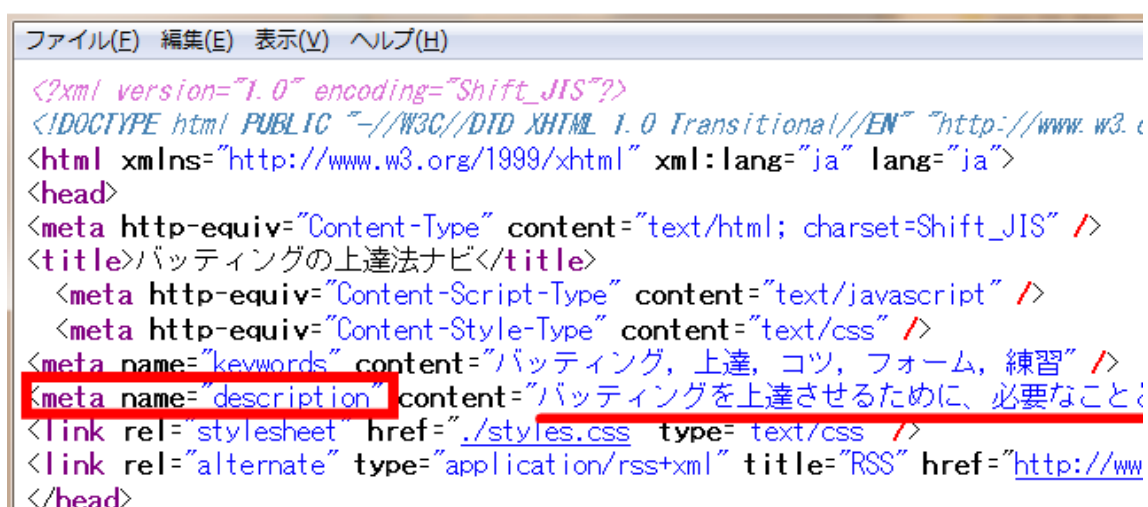
【メタディスクリプションを設定しよう】

メタディスクリプションの役割もメタキーワードとほぼ同じで、検索エンジンにどんなサイトか、文章で記述する項目です。

メタディスクリプションも、メタキーワードと同じくソースの上部に、下記のような表記で記述されます。

`<META name="description" content="●">`

この●の部分に記載されている単語がメタディスクリプションになります。



```
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS" />
<title>バッティングの上達法ナビ</title>
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
<meta name="keywords" content="バッティング, 上達, コツ, フォーム, 練習" />
<meta name="description" content="バッティングを上達させるために、必要なこと">
<link rel="stylesheet" href="./styles.css" type="text/css" />
<link rel="alternate" type="application/rss+xml" title="RSS" href="http://www" />
</head>
```

メタディスクリプションもメタキーワードほどではありませんが、それほど SEO 効果は高くないと言われています。

ただ、設定しておいて損はないので、必ず設定しておきましょう。

記載するときは、文章中にキーワードを
1～2つくらい使用するとよいでしょう。

同じキーワードをあまり入れすぎると、
検索エンジンにペナルティを受ける場合がありますので、
気をつけてください。

ちなみにメタキーワードもメタディスクリプションも可能であれば、各ページずつ記述を変えた方がよいとされています。ページごとに内容が若干違いますからね。

ただ、1 ページずつ入力していくのは手間ですし、最近では SEO 効果も高くないので、面倒であれば全ページ同じでも構いません。

実際、私もほとんどのサイトで同じ設定にしています。

設定にかかる時間を考えたら、少しでも新しいサイトの作成に時間を割り当てた方がよいと思いますので。

【相互リンクを募集しよう】

記事の装飾が終わりましたら、いよいよサイト作成も終わりが見えてきます。

ここでは、相互リンクページの作成方法を紹介していきます。

まずは、相互リンクを募集するためのページを用意します。

相互リンクについて

バッティングの上達法ナビでは、関連ジャンルのサイト、ブログとの相互リンクを募集しています。

N P Aで行う外的 SEO は、基本的に無料ブログとソーシャルブックマークになりますが、**効果だけを考えれば相互リンクが一番ではないかと思っています。**

ただ、相互リンクはリンク先を探したり、リンクを貼ってから依頼したりと、いろいろ**手間**がかかります。

ですので、サイト完成時に自分から相互リンクを依頼するよりは、新しいサイトを作る方がよいと考え、サイト作成時には積極的に行いません。

しかしながら、相互リンクを依頼される場合は別です。

自分のサイトと関連性のある良いサイトであれば、リンクを貼るだけで相互リンクの恩恵を受けることができます。

リンク先を探さなくてもいいですし、相互リンク依頼のメールを送る必要ありません。

リンクを貼って、相互リンク受諾の連絡をすればよいだけです。

しかも、連絡先をエクセルなどでリスト管理しておけば、
のちのち別のサイトの相互リンクをお願いするとき、便利です。

以上の点から考えても、相互リンクの募集をしておくことは、
とてもメリットがありますので、ぜひ行ってください。

■受付フォームの設置

相互リンクの受付先として、受付フォームを用意しましょう。

受付フォームであれば、
不用意にメールアドレスを晒さなくても済みますし、
メールが届かないというトラブルも少なくなります。

メールアドレスでの連絡ですと、
どうしても迷惑メールに入って気付かないということもあります。

せっかくリンク依頼してくれてのに、
気付かないで相互リンクできなかったら、もったいないですね。

またフォームにもよりますが、
相手の連絡先を一括してファイルでリスト化できます。

以上のようなメリットがありますので、
できるだけフォームの設置を試みてください。

主なレンタルフォームサービスを紹介します。

『フォームズ』

<http://www.formzu.com/>

フォームのデザインがいまいちな感じが、
機能も一通り揃っていますし、アクセスしても重くありません。

フォームの複製ができないので、
2個以上フォームを作るときは手間ですが、
トータルで見ると一番よいと思います

私が使っているのもほとんどが**フォームズ**のフォームです。

ここでは一例として、フォームズのサービスを使って、
レンタルフォームの作成方法を紹介します。

まず、サイトのトップページにある「メールフォームを作る」から、
メールアドレスを入力して、右の画像をクリックしてください。

※フォームズでは現在旧バージョンと新バージョン、2種類のシステムでフォーム作成ができます。私はずっと旧バージョンでフォームを作ってきたので、旧バージョンでの作成方法を紹介しますが、どちらで作成しても問題はないので、使い勝手のよい方を選んでいただければと思います。

入力したメールアドレスに間違いがないか確認し、
利用規約をチェックしたら、「利用規約に同意しました」をクリック

 **メールアドレスを確認してください。**
(このメールアドレス宛にメールが送信されます)



誤っている場合は「前の画面」に戻って再入力してください。[<<前の画面に戻る](#)

 **利用規約を確認してください。**
同意したなら、ボタンを押してください。

利用規約に同意しました

画面が変わりましたら、フォームの名前とパスワードを入力し、
次へ進みましょう。

 **今から作成するフォームの名前とパスワードを入力して下さい。**

フォームの名前

パスワード

●●●●●●

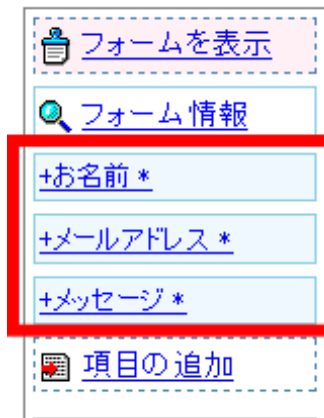
●●●●●●

2回入力をお願いします。

**フォームの名前と
パスワードを入力**

次へ進む

フォームの作成画面になります。
左のメニュー内で、青い部分が初期設定でフォームに入っている項目です。



今回は相互リンクを受け付けるためのフォームなので、必要な項目は以下になります。

- ・サイト名
- ・メールアドレス
- ・URL
- ・紹介文
- ・リンクしたページの URL
- ・メッセージ（備考欄）

このうち、メールアドレスとメッセージ（備考欄）は、初期設定で入っていますので、残りの4つを追加していきますが、先に不要な「お名前」を削除しましょう。

それでは、「お名前」をクリックしてください。

フォームを表示

フォーム情報

+お名前*

+メールアドレス*

+メッセージ*

項目の追加

画面が変わりましたら、削除をクリックします。

お名前 *

設定されているパラメータ

種類	お名前 - 定型項目
タイトル	お名前
姓名为分ける	いいえ
入力必須	はい

パラメータ変更 削除 閉じる

このウィンドウは「閉じる」ボタンで瞬時に消えます。

すると、左メニューから、「お名前」の項目がきえましたね。



お名前 を削除しました。

それでは、いよいよ残りの項目を追加していきます。
項目を追加するには、左メニューの「項目を追加」をクリックします。

新しい項目の追加画面になりますので、「テキスト型」選択してください。

新しい項目の追加 [初めてフォームを作られる方は](#)

定型項目 選択型 **テキスト型** コメント 画像

定型項目

必要な項目にチェックを入れて、「フォームに追加」をクリック

☐ お名前 ☐ 必須 ☐ 年齢

テキスト項目型の作成画面になりますので、1つ1つ設定していきます。
まずは、「サイト名」の項目を作っていきます。

定型項目 選択型 テキスト型 コメント 画像 区切り線

テキスト型項目（*がある項目は入力必須です。）

[\[テキスト型項目のサンプルを表示\]](#)

項目名 * あなたのサイト名 ←「あなたのサイト名」と入力

サイズ 横=半角 80 文字 縦= 1 行 ←横80文字、縦1行に設定

初期値

☐ クリックされた時に初期値を消す。

注釈

注意事項などのコメントがありましたら入力してください。自動的に改行されませんので、2行に1回の割合で改行してください。

入力必須 ☒ はい ☐ いいえ ←入力必須は「はい」を選択

追加する位置 最初 ▼ フォームに追加

項目を設置する場所を選択 ↑ ↑最後にクリック

設定を終え、最後に「フォームに追加」をすれば OK です。
同じ手順で、「URL」「紹介文」「リンクしたページの URL」の項目を追加していきます。

なお、「紹介文」は入力部分のサイズが1行では足りない場合があるので、5行くらいに設定しておいた方がよいでしょう。

[定型項目](#)
[選択型](#)
[テキスト型](#)
[コメント](#)
[画像](#)
[区切](#)

テキスト型項目（* がある項目は入力必須です。）

[\[テキスト型項目のサンプルを表示\]](#)

項目名 *

サイズ 横＝半角 文字 縦＝ 行

また各項目とも、「追加する位置」はそれぞれ異なりますので、
順番どおりになるよう設定しましょう。

追加する位置

- 最後
- 最初
- [あなたのサイト名]の下
- [メールアドレス]の下
- [あなたのサイトU]の下
- [あなたのサイト紹]の下
- [リンクしたページ]の下
- 最後

項目ごとに選ぶ

全部の入力が完了したあと、左メニューを見ると、
正しく反映されているのが、わかります。

[フォームを表示](#)
[フォーム情報](#)
[+あなたのサイト名 *](#)
[+メールアドレス *](#)
[+あなたのサイトURL *](#)
[+あなたのサイト紹介 *](#)
[+リンクしたページURL *](#)
[+メッセージ *](#)
[項目の追加](#)

なお、2つ目以降に作成したサイトでも、同じフォームを使う場合は、
どのサイトをリンクしてもらったかわかるように
「リンクした当サイトの名前」という項目を作っておくとよいでしょう。

それでは、フォームの最終確認をします。

「フォームを表示」をクリックすれば、
フォームのプレビュー画面を確認できます。

[フォームを表示](#)
[フォーム情報](#)
[+あなたのサイト名 *](#)

不備がないか確認しましょう。

閉じる

相互リンク受付フォーム

無料フォームは、この位置に広告が表示されます。

あなたの サイト 名 *	
メール アドレ ス *	ミス防止の為 2回入力をお願いいたします。
あなたの サイト URL *	
あなたの サイト 紹介 文 *	
リンク した ペー ジ URL *	

問題がなければ、左下の「保存して終了」をクリックしてください。

項目の追加

[作成ガイド](#)
[順番並び替え](#)
[デザイン設定](#)
[携帯電話用フォーム](#)
[ログデータ](#)
[データ全表示](#)

[フォーム削除](#)

保存して終了

フォームの URL が表示されますので、
コピーしてメモ帳などに保存しておきましょう。



フォーム作成完了

フォームID P32163028

パソコン用URL <http://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P32163028>

携帯電話用URL <http://www.formzu.net/mfgen.ex?ID=P32163028>

フォームIDとURLはお控えください。

パソコン用URLを保存しておきましょう。

以上で、フォーム作成の説明を終わりにします。

なおレンタルフォームではなく、

どうしてもメールアドレスで連絡を取りたい場合は、

そのまま自分のメールアドレスを載せるのではなく、記号を入れてください。

ネット上にそのままメールアドレスを載せてしまうと、

迷惑メール（スパム）送信業者にメールアドレスを取得され、
大量の迷惑メールが届くことになります。

通常、こういったスパム業者は自動収集ツールを使って、
ネット上にあるメールアドレスを自動取得しています。

ですので、下記のように「@」を別の記号に変えるなどして、
メールアドレスと認識させないようにしてください。

link★.net

※★マークを@に変更して、ご連絡ください

その下に「★マークを@に変更して、ご連絡ください」と書いておけば、問題ありません。

■相互リンク募集ページに必要な3つのポイント

リンク募集ページの文面は特に決まりはありませんが、以下のポイントは抑えておきましょう。

▼自サイトのサイトタイトル・URL・説明文・リンクタグの掲載

これを書いていないと、相手もどのようにリンクを貼っているのかわかりません。

特にサイトタイトル、URLは書いてあるのに説明文が書いていないサイトは、相手が説明文を考えなければいけないので手間が増えます。

場合によっては、それでリンク依頼するのが面倒になり、相互リンクの申し込みをしてもらえないかもしれません。

少しでも申し込みがあった方がよいので、サイトの説明文は書いておきましょう。

また、サイトによっては、説明文の文字数を制限している場合や説明文は載せないという場合もあるので、「修正しても構いません」などと補足があるとよいですね。

最後にリンクタグについて。

リンクタグとは、リンクを貼るためのHTMLタグのことです。

```
<a href="http://www.●●.net/" target="_blank">バッティングの上達法ナビ</a>
```

※これをリンクタグといますが、このタグをサイト作成ツールに貼って、リンクを送ります。

このリンクタグがあれば、
コピーして張り付けるだけでリンクできるので、
相手の手間が大きく省けます。

絶対なくてはならないものではありませんが、
このマニュアルでも散々お伝えしてきたとおり、
人間は手間や考えることが増えるとモチベーションが下がります。

リンクしてきてくれる相手のためにも、リンクタグの掲載をお薦めします。

▼リンクをするメリット

自分のサイトと相互リンクをするためのメリットを書いておくと、
リンク依頼をしてもらいやすくなります。

メリットと言ってもおおげさなものでなくて構いません。

「SEOを考え、関連ジャンルのサイトとしか相互リンクをしない」

「リンク効果を下げないため、相互リンクは1ページあたり50サイトまでにしています」

など、やみくもに相互リンクをしているわけではないということを伝えるだけでも、効果があります。

最近は相互リンクは良いということで、ジャンルも考えず、ただ単にリンク先を膨大に増やしているサイトが見受けられます。

コンテンツのページよりも相互リンクのページの方が多いサイトもありますよね。

誰だって、そんなリンク集みたいなサイトより中身のしっかりしたサイトと相互リンクしたいはずですし、実際リンク集のようなサイトは相互リンク効果が薄いと言われています。

ですので、その辺をちゃんと伝えるだけでも「このサイト運営者はきちんと気を配っているんだな」と安心感を与えることができます。

▼リンク NG の場合の対応

せっかく相互リンクを申し込んでもらっても、関連ジャンルのサイトでなかったり、公序良俗に反するサイトやペラページのサイトの場合、リンクをお断りすることになります。

もちろん、その都度お断りのメールを送れば一番よいのですが、サイトが増えてくると、結構手間がかかります。

ですので、前もって「●日以内に返事がない場合は、リンクをお受けできないとご判断してください」など、

リンク NG 時の対応を明記しておきましょう。

ただ、面倒でなければ、

「リンクをお受けする場合も、お断りする場合も 2 日以内にご連絡します」
などのように、必ず返事をする事、
すぐに返事することを明記した方が、相互リンク依頼数は増えます。

アフィリエイトに割ける時間に応じて対応を決めていただければと思います。

以上を踏まえ、相互リンク募集ページの文章例を紹介します。

バッティングの上達法ナビでは、関連ジャンルのサイト、ブログとの
相互リンクを募集しています。

当サイトではリンク効果を考え、
リンク掲載数は 1 ページで 50 サイトまでとしておりますので、
関連ジャンルのサイト、ブログをお持ちの方は、ぜひご連絡くださいませ。

相互リンクをご希望の方は、大変お手数ですが、
当サイトのテキストリンクを貼っていただいた上で、
下記フォームよりご連絡ください。

《相互リンク受付フォーム》

当サイトの情報は下記のとおりです。

● サイトタイトル⇒バッティングの上達法ナビ

● URL⇒<http://www.●●.net>

●紹介文⇒バッティングの練習方法、コツなどバッティングの上達法をまとめたサイトです。

(紹介文は加筆、修正していただいて構いません)

●リンクタグ⇒`<a href="http://www.●●.net/" target="_blank">バッティングの上達法ナビ</a>`

またアダルトサイトなど、不適切なサイトと判断した場合はリンクをお断りさせていただくことがございます。

1週間以上経っても、当方からの連絡がない場合は、大変申し訳ありませんが、相互リンクをお受けできなにご判断いただきますようお願いします。

それでは、みなさまからの相互リンクのご依頼をお待ちしておりますので、よろしくお願いします。

なお、あくまで参考例なので、実際に相互リンクページを作るときは、自分なりの文章を考えてくださいね。

■相互リンクページ作成の時短テクニック

NPAでは、

複数のサイトを作っていきますので、

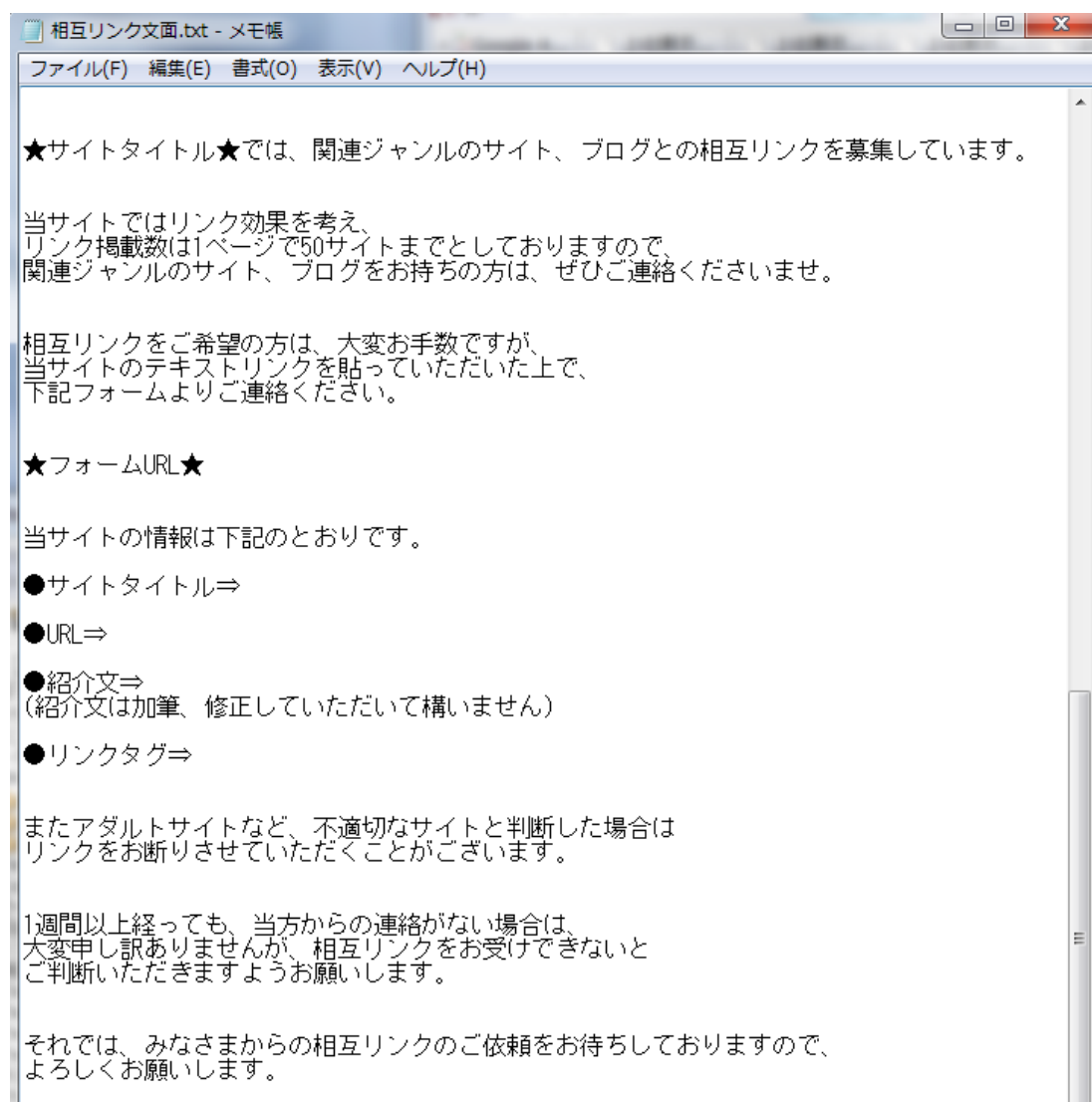
相互リンクページはひな型の文章を用意しておくと便利です。

ひな型の文章をメモ帳などで保存しておけば、サイトを作るたびにメモ帳の内容をコピー&ペーストして、

あとはサイトタイトルや URL などを個別に入れていくだけで相互リンクページが完成します。

実際、やってみると、かなり時間短縮ができますので、最初にひな型を作ってしまうとよいでしょう。

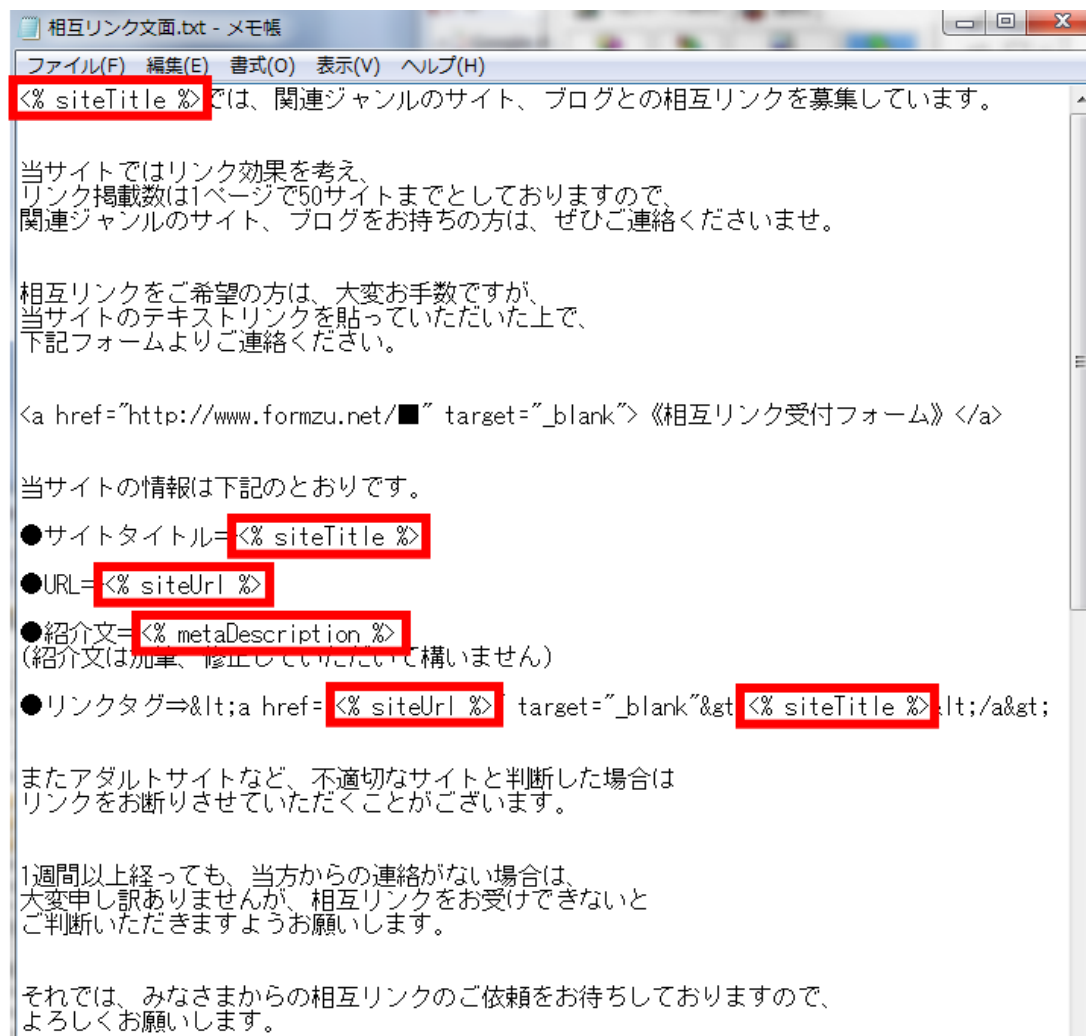
たとえば、さきほどの文章例であれば、こんな感じです。



サイトごとに、★サイトタイトル★、★フォーム URL★、
当サイトの情報部分を入力していけば OK で使い回しがききます。

また AQUAS・SIRIUS では、**ツール独自のタグ**が用意されています。

AQUAS（SIRIUS）でサイト作成する場合は、サイトタイトル、URL、説明文、リンクタグの部分にそのタグを使ってしまいましょう。



このタグを使うと、自動的にサイトタイトルやURLが入力されるので、かなり手間が省けます。

複数のサイトを作るときは、ぜひ活用してください。

「サイトタイトル」

<% siteTitle %>

「URL」

<% siteUrl %>

「紹介文」

<% metaDescription %>

ちなみに AQUAS (SIRIUS) でリンクタグを

下記の様にそのまま入力してしまうと、

「<」と「>」の部分を HTML タグと認識して、そのまま表示してくれません。

<a href="<% siteUrl %>" target="_blank"><% siteTitle %>

※このまま貼り付けても NG

ですので、AQUAS (SIRIUS) でリンクタグを貼り付ける場合は、
下記のように「<」と「>」の部分を修正して、貼り付けてください。

「リンクタグ」

<a href="<% siteUrl %>" target="_blank"><% siteTitle %>

相互リンク受付フォームから、リンク依頼があり、
リンクを貼る場合、特典の『[相互リンクリスト管理表](#)』を使います。

サイトタイトル、URL、紹介文、メールアドレス、リンクしたサイト名の
5項目を埋めていきます。

C	D	E	F	G
サイトタイトル	サイトURL	紹介文	メールアドレス	リンクしたサイト名

**サイトタイトル、URL、紹介文、
メールアドレス、リンクしたサイト名の
5項目を入力していく**

※「リンクしたサイト名」には、リンク依頼された自分のサイト名を入れます

各項目を入力していくと、自動的にリンクタグが生成されますので、リンクを貼るのが簡単です。

その際、「**サイトタイトル**」欄の文字が**アンカーテキスト**になります。

もし相互リンク先で、別にアンカーテキストの指定がある場合は、
指定されたテキストを「サイトタイトル」欄に入力してください。

※リンクタグの使い方や『相互リンクリスト管理表』の詳細は、特典の『相互リンクリスト管理表の使い方』を参照してください。

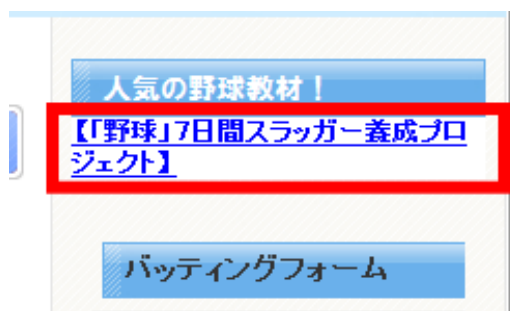
【一応アフィリエイトリンクを貼ろう】

この時点でアフィリエイトリンクを貼っても、ほとんど効果はありませんが、運がよければ少ないアクセスでも、ポンっと売れることがあります。

せっかくですので、一応アフィリエイトリンクを貼っておきましょう。

ただし、この時点ではまだサイトが
上位表示されるのかもわかりませんので、
時間をかける必要はありません。

画像もなく、テキストリンクだけでも十分だと思います。



あとで、サイトが育ってきてから、画像を取り入れたり、レイアウトを考えて OK です。

この時点では時間がもったいないので、くれぐれも考えすぎないように。

なお、リンクを貼る際は、
新しいウィンドウで販売ページが開く設定にしましょう。

同じウィンドウで販売ページに移動すると、
訪問者がまた元のサイトを見たくなったとき、戻りにくくなります。

最悪、販売ページのウィンドウを閉じてしまうと、
自分のサイトも見られなくなるので、
新しいウィンドウが立ちあがるよう設定してください。

リンクをクリックしたとき、新しいウィンドウが立ち上がるようにするには、リンクタグに「**target="_blank"**」というタグを付け足します。

こんな感じですね。

```
<p><a href="http://[redacted]" target="_blank"><strong>【「野球」7日間ス  
プロジェクト】</strong></a></p>
```

ちなみにインフォトップでアフィリエイトリンクを取得するときは、「メルマガ用フォーム」の URL をコピーして使いましょう。

テキストリンク

商品紹介リンクをブログやメールマガジンに貼り付けて、商品を紹介しよう！

メルマガ用フォーム

「野球」7日間スラッガー養成プロジェクト

[http://www.infotop.jp/click.php?aid=\[redacted\]](http://www.infotop.jp/click.php?aid=[redacted])

←このURLを使う

【サイト分析の要！ アクセス解析の設置】

最後にアクセス解析を設置します。

アクセス解析はそのサイトにどれくらいアクセスがあるのかはもちろん、時間帯別、ブラウザ別などのアクセスが計測できます。

その中でも、我々サイトアフィリエイトにとって一番大事な機能は、「**検索フレーズ（キーワード）**」の解析です。

「検索フレーズ」とは、
その訪問者がどんなキーワード（フレーズ）を検索して、
アクセスしてきたかを示すものです。

この検索フレーズを確認することで、
狙っているキーワードで
きちんとアクセスが来ているのか確認ができます。

アクセスが多いのに、
アフィリエイトしている情報商材の購入率が悪い場合は、
狙っていたキーワードとは
別のキーワードでアクセスが多いという場合もあり、
原因の切り分けの手がかりになります。

**アフィリエイトにとっては必須のツールなので、
必ず設置するようにしましょう。**

ちなみにアクセス解析は、サービス会社によって、
いくつか仕様、使い勝手が異なっています。

サービス会社もかなり多くありますが、
無料で使えるメジャーなサービス会社をいくつか上げますね。

- ・ [忍者アクセス解析](#)
- ・ [Google Analytics（グーグルアナリティクス）](#)
- ・ [i2i（アイツーアイ）](#)

それでは、1つ1つ説明をしていきます。

■忍者アクセス解析

とてもメジャーなので、ご存じの方も多いと思います。

広告が邪魔、管理画面で「戻る」ボタンが使えないなど、
デメリットもありますが、
複数サイトの設置のしやすさではNo.1だと思います。

1回アカウントを取ってしまえば、
あとはサイトを作るたびにタグを取得して貼り付けるだけなので、
手間がかかりません。

ページ別のアクセスが確認できれば、よいと思いますが、
一通りの機能は備えているので、大きな問題はないと思います。

『忍者アクセス解析』

<http://www.ninja.co.jp/analyze/>



NINJATOOLS
忍者アクセス解析

[NINJA TOOLストップ](#) | [お知らせ](#) | [ヘルプ](#)

 サイトマスター |  ホームページ |  アクセス解析 |  ブログ |  カウンター |  画像アド |  テキストアド |  リンクアド |  フォームアド |  メールフォーム |  バリヤー |  コンデンサー

4ヶ月アクセスログ保存、携帯解析対応、簡単設置の

無料リアルタイム解析

それが忍者アクセス解析です。

今すぐツールを作成

無料でご利用になれます!
このツールを作成

- 忍者アクセス解析トップ
- 特徴
- 忍者アクセス解析の活用術
- 機能一覧
- アクセス解析サンプル

■Google Analytics（グーグルアナリティクス）

Google が運営しているアクセス解析です。
高度な解析能力で評判のサービスです。

サイト訪問者がどのページから入ってきて、
どのページへ遷移していったかサイト内での動きが把握できますし、
ページごとに細かいチェックもでき、
とにかくいろいろな解析が可能で、
無料とは思えないくらい高機能です。

ただ、高機能過ぎて使いこなせない場合もあり、
慣れない人には管理画面がわかりにくいかもしれません。

またリアルタイム解析ができないため、
データが反映されるには1日程度待たなくてははいけません。

その他、サイトのデータを Google に教えてしまうわけですから、
自サイトから自作自演のリンクを送っている場合、
思いつきバレてしまいます。

過度な自作自演リンクをしてなければ問題はないと思いますが、
場合によってはスパムと判断されるかもしれないので、
その点は気をつけておいた方がいいでしょう。

『Google Analytics（グーグルアナリティクス）』

<http://www.google.com/intl/ja/analytics/>

無料で使いやすいハイエンドなウェブ解析を実現。

Google Analytics はハイエンドなウェブ解析ソリューションで、ウェブサイトのトラフィックやマーケティング効果を詳細に分析できます。柔軟で使いやすいさまざまな機能により、これまでになかった新しい方法でトラフィック データを確認、分析できるので、ターゲットを絞り込んだ広告を作成してマーケティング活動を強化したり、効果的なウェブサイトを作成したりするのに役立ちます。

Analytics にアクセス

Google Analytics を初めてご利用の場合
[今すぐお申し込み](#)



インテリジェンス

レポートをモニターして、データに重要な変化があった場合、自動的にお知らせします。



アドバンス セグメント

操作性の高いセグメントビルダーにより、トラフィックを任意の条件で分割して分析できます。



柔軟なカスタマイズ

カスタム レポート、カスタム変数、トラッキング API により、必要に応じて自由にデータを表示できます。

■ i2i (アイツーアイ)

Google Analytics ほどではありませんが、
無料アクセス解析サービスの中では高機能です。

ページ数ごとのアクセス数もわかるので、
どのページの人気があるのかなど簡単にわかります。

管理画面も使いやすく、操作方法なども簡単に覚えられると思います。

複数サイトのユニークアクセスを一覧で確認できないのが残念ですが、
ページビューなら過去 2 日間に限り、一覧で確認できます。

全体的に見れば、機能と使い勝手両方のバランスが取れた
よいアクセス解析サービスだと思います。

『i2i (アイツーアイ)』

<http://searchcheck.i2i.jp/>

アイツーアイ
i2i.jp 無料であなたのホームページに便利なWEBパーツを

ようこそゲストさん [+新規ID登録](#) | [ログイン](#)



The banner is divided into two main sections. The left section has a green header with the text 'i2iが提供するサービスについての説明 初めての方へ' and an orange box below it stating '登録から利用まで全て無料です 新規ID 登録(無料)'. The right section has a yellow background with a large 'i2i' logo on the left. To the right of the logo, the text reads 'i2i 携帯サイト用アクセス解析が 正式バージョンアップ' in large, bold characters. Below this, it says 'リアルタイム集計、足跡追跡、地域解析 などなど 無料で使えるのに更に高機能になりました。'

■どれを使うか迷ったら…

他にもいろいろなアクセス解析がありますが、
私が利用しているのはこれまで紹介した3つです。

どれを使えばよいのか迷うと思いますが、
はじめは **i2i** か **忍者アクセス解析** でよいと思います。

どちらの管理画面も直感的に操作しやすいので、
初めての人でも導入しやすいと思います。

そして、ある程度サイトが育ってきて、
特にこのサイトは細かくチェックしたいと思えば
Google Analytics に切り換える形でよいと思います。

1つで何万円も稼ぐパワーサイトを作るなら、

はじめから高機能な Google Analytics を
設置した方がよいと思います。

しかし、月数千円稼ぐサイトを複数作る場合は、
そこまで高機能なアクセス解析は必要ありませんし、
使い勝手など管理のしやすさの方が大事です。

なにより一番大事な「検索フレーズ (サーチワード)」は、
Google Analytics でなくても、解析できますので。

私自身も基本は忍者アクセス解析を使っていて、
アクセス解析を細かく確認したいサイトは i2i を使っています。

Google Analytics に関しては、
正直そこまで高機能なものが必要でないため、
今はほとんど使用していません。

もちろん、この他のサービスでも、
基本項目の解析ができ、複数サイトの管理がしやすいものであれば、
お好きなものを使っていただいて構いません。

【サーバー上へアップしよう】

さて、アクセス解析の設置が終われば、サイトの完成です。

いよいよサイトをサーバー上にアップしていきます。
サーバーにデータをアップするには、FTP という仕組みを利用します。

FTP とは、File Transfer Protocol（ファイル・トランスファー・プロトコル）を略したもので、要するにファイルを転送するための仕組みです。

SIRIUS などのサイト作成ツールを使っている場合は、FTP 機能があらかじめついているものが多いので、その機能を使ってアップしてください。

さて、FTP ソフトがなく、サーバーにファイルを送れない場合、自分で用意する必要があります。

現在 FTP ソフトはいろいろ出回っていますが、ここでは無料のものと、有料のものを 1 つずつ紹介します。

▼FFFTP

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/net/se061839.html>

無料の FTP ソフトです。
無料のものでは定番なので、すでに利用されている方も多いと思います。

高機能ではありませんが、シンプルで直感的に使うことができるので、初心者にもお薦めのソフトです。

ただ、少し前には Gumblar というウイルスにパスワードを抜き取られる被害もあり、安全性に不安を覚える方は、よりウイルス対策のしっかりした FTP ソフトをお薦めします。

▼NextFTP

<http://www.toxsoft.com/nextftp/>

有料の FTP ソフトです。

操作方法は FFFTP と近いので、
すでに FFFTP をお使いの方も簡単に使いこなせると思います。

ツリー状に各設定を保存できるので、複数サイトの管理にも便利ですし、バージョンアップも適宜行っていて、安心感があります。

ウイルス対策なども FFFTP よりしっかりしています。
※ただし、パソコン自体のウイルス対策をしっかりとしていなければ意味がありませんので、かならずウイルス対策ソフトはインストールしておきましょう。

私自身も使用しておりお薦めのソフトです。

【最後が大事！ サイトのチェック】

サイトのアップロードが済みしたら、
完成したサイトに問題がないか、いろいろな面で確認が必要です。
早速サイトをチェックしてみましょう。

チェックはサイト内を目視したり、HTML 構文にエラーがないかなど、
確認をしていきます。

それでは順番にチェックをしていきましょう。

■サイト内を実際に見てみる

まずは、実際にサイトにアクセスして、
自分の目でサイトが正しくアップされているか確認しましょう。

トップページだけでなく、各記事ページや相互リンクのページなど、
一通り確認をしてみてください。

バッティングの上達法ナビ



バッティングの上達法ナビ

バッティングを上達させるために、必要なことは？ 練習方法からフォームについてまで、バッティングを極めるための情報が満載！

バッティングの上達法ナビ

「自分にはバッティングセンスがないんだ」と諦めていませんか？

確かに、バッティングには、センスも必要でしょう。

しかし、当然、センスだけでは、上達できません。

大事なのは、基本を抑えて、目指すバッタータイプに合った打ち方を習得することです。

さて、あなたがバッティングの上達を目指す理由は何ですか？

「4番バッターになりたい！」「もっとヒットを打ってチームに貢献したい」
というアマチュア野球プレーヤーの方が多いのでしょうか。

お子様が少年野球チームに入っているというお父さんが、
子供に指導するために学ぶ場合もあるでしょう。

各ページ、目でみてチェック →

「友人とたまにやる草野球だが、打てなくてバカにされたくない」
「女の子とバッティングセンターに行って、カッコいいところを見せたい」
という方もいるかもしれませんね。

人気の野球教材！
[【野球】7日間スラッガー養成プロジェクト](#)

バッティングフォーム

- バッティングの基本
- 構え方
- タイミングのとり方
- テイクバック
- ステップ
- スイング

練習方法

- バッティングマシン
- トスバッティング
- ティーバッティング
- バッティングセンターに行こう
- バッティングネット

道具を揃える

- 木製バットの選び方
- 金属バットの選び方
- バッティンググローブ(手袋)

バッティング理論

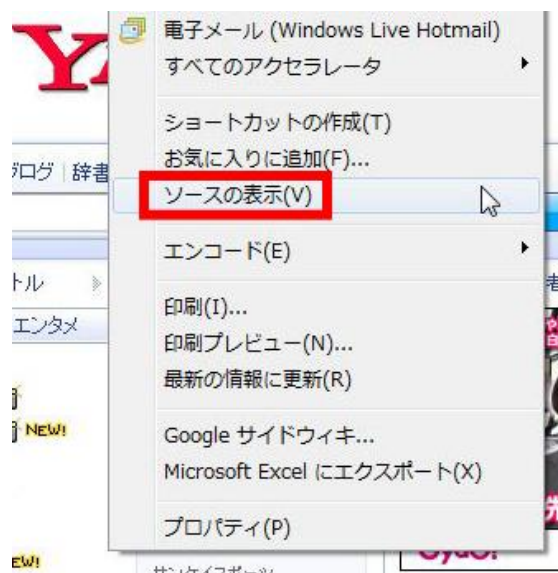
アフィリエイトリンクも自分でクリックして、
ちゃんと販売ページに遷移するか確認をしましょう。

そもそも、アフィリエイトリンクが正しく飛ばなかったら、
いくらがんばっても利益が出ません。

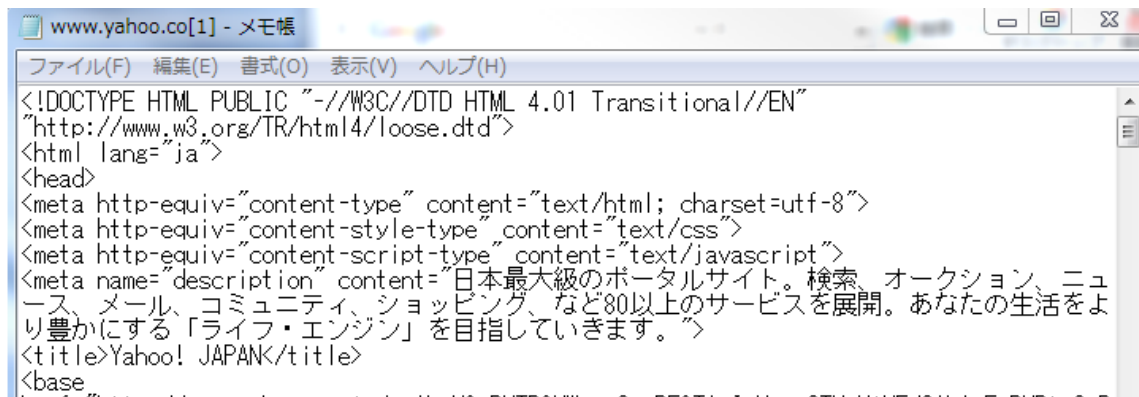
もし、何か不備がありましたら、
修正をして、再アップロードしましょう。

■HTML 構文のエラーをチェックしよう

Yahoo など、どのサイトでもよいので、
サイトを開いた状態で、右クリックをし、
「ソースの表示」をクリックしてください。



すると、メモ帳が立ち上がり、
HTML タグの書かれた文字列が表示されると思います。



```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=utf-8">
<meta http-equiv="content-style-type" content="text/css">
<meta http-equiv="content-script-type" content="text/javascript">
<meta name="description" content="日本最大級のポータルサイト。検索、オークション、ニュー
ース、メール、コミュニティ、ショッピング、など80以上のサービスを展開。あなたの生活をよ
り豊かにする「ライフ・エンジン」を目指していきます。">
<title>Yahoo! JAPAN</title>
<base
```

この文字列を **ソース** と呼び、
このソースを元にホームページ（サイト）は作成されます。

AQUAS などのサイト作成ツールを使えば、
こんな複雑な文字列を入力しなくても、
自動的に HTML タグでソースを作成してくれますが、
基本的にネット上で公開されるファイルは、
このような HTML タグからなるソースできています。

そして、このソースの書き方によって、
検索されたときの順位に影響があるということを覚えておいてください。

ということかという、
HTML タグの入力に誤りがあったり、
非推奨の HTML タグが使われていたりすると、
検索エンジンからマイナス評価を受け、
検索順位が落ちる場合があります。

HTML タグについて詳しくお話すると、
本 1 冊分になってしまうので、
ここでは触れませんが、上記の点だけは忘れないでください。

通常、AQUAS などのアフィリエイト用に作られた
サイト作成ツールであれば、
正しい構文でソースが作られているので問題はありません。

ただ、サイトのデザインを変える際など
テンプレート（HTML 構文）の修正が正しく行われないと、
見た目は問題なくても、ソースは間違っていますので、
検索エンジンからマイナス評価を受ける可能性があります。

そのため、サイトをアップロードしたら、
ソースに問題がないかチェックする必要があります。

チェックするには下記サイトを利用します。

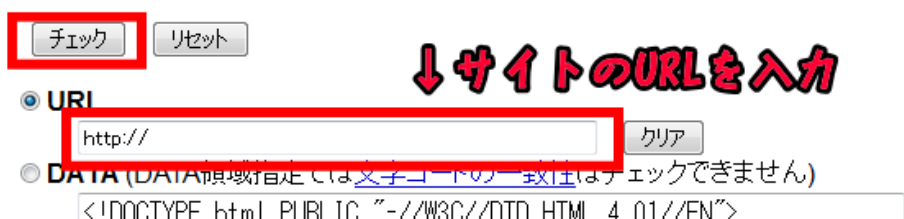
『Another HTML-lint gateway』

<http://openlab.ring.gr.jp/k16/htmlhint/htmlhint.html>

チェック方法は簡単で、URL 入力欄にサイトの URL を入れて、
「チェック」をクリックするだけです。

チェック方式

チェックしたいHTMLのURLを指定するか、HTMLを下のテキスト領域に直接記述することができます。[リセット]はすべての設定内容を初期状態に戻します。[クリア]はそれ



↓サイトのURLを入力

● URI

● DATA (DATA領域指定では文字コードの一致性はチェックできません)

`<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">`

すると、以下のようにサイトのソースを 100 点満点で採点をしてくれます。

マイナス評価を受ける部分については、きちんと説明がついているため、どこをどのように修正すればよいのか分かります。

チェックの結果は以下のとおりです。



を XHTML1.0 Transitional としてチェックしました。
32個のエラーがありました。このHTMLは 61点です。タグが 25種類 167組使われています。文字コードは Shift JIS のようです。

先頭の数字はエラーのおおまかな重要度を 0～9 で示しています(減点数ではありません)。少ない数字は軽く、9 になるほど致命的です。0 は減点対象外のご軽度のエラーで (グレイのかっこつき) でメッセージされています。

0: line 13: (<head>～</head> 内に <link rev="made" href="mailto:～" /> が含まれていません。) → [解説 124](#)
0: line 13: (<head>～</head> 内に <link rel="next" href="～" /> などのナビゲーション用のリンクが含まれていません。) → [解説 125](#)
0: line 33: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 34: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 36: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 37: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 39: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 40: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 41: (は物理的フォントタグです。論理的タグを使うようにしましょう。例えば 。) → [解説 201](#)
0: line 41: (は物理的フォントタグです。論理的タグを使うようにしましょう。例えば 。) → [解説 201](#)
0: line 42: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 43: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 45: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 46: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 48: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 49: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 51: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 52: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 54: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 55: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 57: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 58: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 60: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。) → [解説 52](#)
0: line 61: (<p> と </p> の間に空白文字しか含まれていません。これ以降この警告は表示しません。) → [解説 52](#)
3: line 83: '&iid' は不明な実体参照です。 → [解説 114](#)
1: line 192: と の間が空です。 → [解説 51](#)
9: line 202: <noscript> を 202行目の ～ 内に書くことはできません。<noscript>～</noscript> 内に を書くことはできません。 → [解説 43](#)
0: line 202: (の属性 'border' はあまり薦められない属性です。スタイルシートを使いましょう。) → [解説 82](#)
6: line 202: には alt 属性が必要です。 → [解説 86](#)
0: line 202: (には width と height 属性を指定するようになさいます。) → [解説 186](#)
0: line 202: (の属性 'border' はあまり薦められない属性です。スタイルシートを使いましょう。) → [解説 82](#)

アフィリエイトでマイナス
アクセス解析でマイナス

インフォトップのアフィリエイトやアクセス解析などで
マイナス評価を受けるのは仕方ありませんが、HTML タグの打ち間違いなど、
修正可能な部分はチェック結果の説明を参考に修正をしていってください。

※無料ブログでサイト作成した場合は特典のテンプレートを使っても、無料ブログの特性上、マイナス評価が多くなります。

■キーワードの出現頻度を確認しよう

HTML ソースに問題がなければ、
キーワードの出現頻度をチェックします。

今回のキーワードは「バッティング」ですが、
このキーワードをサイト内で使いすぎると、
検索エンジンにスパム判定され、ペナルティを受ける場合があります。

本来、キーワードはサイトのテーマのようなものなので、
記事を書いていけば、自然と使用回数が増えます。

ですので、検索エンジンも出現頻度の多い単語は、
サイトの内容と関連性が強い判断し、
その単語で検索されたとき、上位表示されやすくなります。

ところが特定の単語の使用回数が極端に多すぎると、
検索エンジンは意図的に出現頻度を高くしていると判断し、
逆に検索順位を落とすことがあります。

意図的でなくても、キーワードの出現頻度が多すぎると、
スパム判定を受けかねないので、
サイトを作成した際は必ずキーワードの出現頻度を確認しましょう。

ちなみに、キーワードの使用頻度が低すぎてもいけません。

低すぎるとスパム判定は受けませんが、
検索エンジンがキーワードにマッチしたサイトではないと
判断し、上位表示しにくくなります。

確認するには下記サイトを利用してください。

『キーワード出現頻度解析ツール』

http://www.searchengineoptimization.jp/tools/keyword_density_analyzer.html

ソースのチェック時と同じように URL を入力して、「解析」をクリックします。

解析

SEOツールによる解析を行います。インターネット上のファイルを解析する場合は解析するURLを入力、ローカルのファイルを解析する場合は解析を行いたいローカルのファイルを選択して、「解析」ボタンを押してください。

↓サイトのURLを入力

解析を行うURL:
解析を行うファイル:

解析が終わると、結果が表示されます。
出現頻度の高い順に単語が表示されます。

URL	
タイトル要素	バッティングの上達法ナビ
meta keywords	バッティング, 上達, コツ, フォーム, 練習
meta description	バッティングを上達させるために、必要なこととは？ 練習方法からフォームについてまで、打撃を極めるための情報が満載！
構成単語数	237
総単語数	420
出現頻度	1. バッティング 26 6.19% 2. 上達 11 2.62% ※頻出回数10回未満の単語を省略

単語ごとの使用頻度が表示されます

出現頻度の基準は諸説あり、明確なラインはありませんが、**3～7%くらいの出現頻度**がベストではないかと思います。

ちなみに、チェックする際の注意点を簡単にお話しします。

▼サイト作成時のキーワード出現率は2～6%

キーワードの出現率は**3～7%くらい**がベストとお話しましたが、
サイトを作成した直後は**2～6%**を目安にしてください。

と言いますのも、サイトのアクセスが増え始めると
アフィリエイトの誘導を強化するため、
情報商材についての説明を増やします。

今回のサイトで言えば、アフィリエイトする
『「野球」7日間スラッガー養成プロジェクト』の説明をサイドメニューや、
サイトのトップなどに記載してアフィリエイトを貼るわけです。

当然、説明する際は「バッティング」というキーワードを使いますので、
あとあとキーワードの出現率がアップしてしまいます。

アフィリエイトの説明を増やしたときに、
記事内のキーワード使用数を減らしてもよいですが手間もかかるし、
忘れることもあるので、サイト作成時は少し割合を減らして、
2～6%程度にしておいた方がよいでしょう。

▼サイドメニューなどの影響

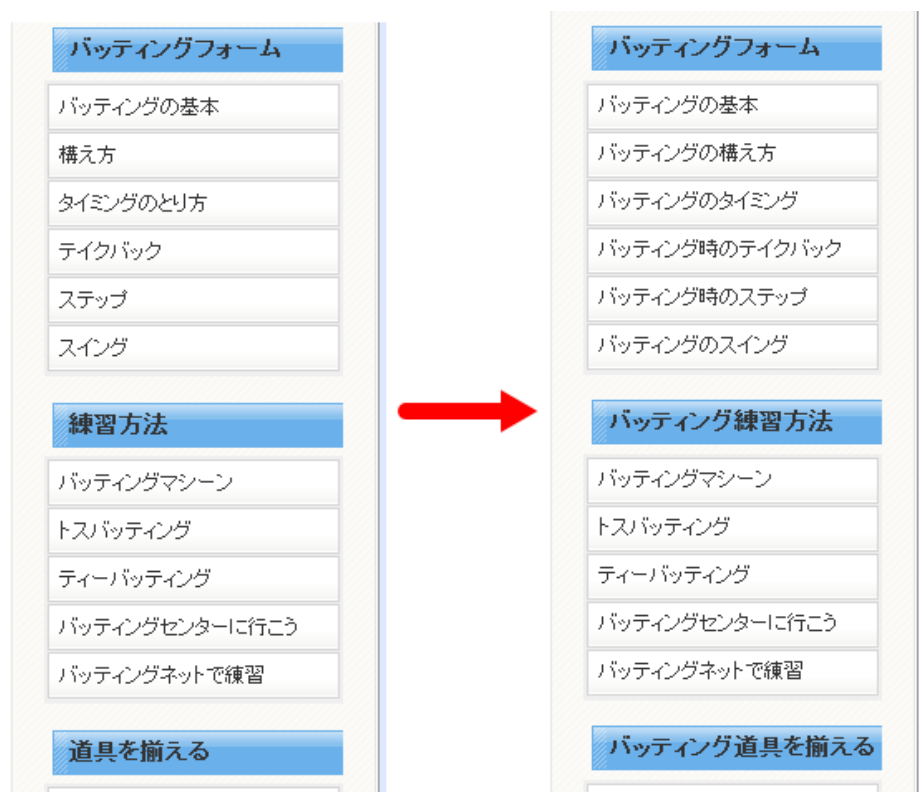
キーワードの出現頻度は、記事内のキーワードだけでなく、

サイト全体で判断をされます。

ですので、サイドメニューの記事タイトルでも
キーワードが頻繁に使われている場合は注意が必要です。

「バッティングの上達法ナビ」のサイドメニューを見てください。

現在のキーワード出現率は3～7%に収まっていますが、
もし各記事タイトルが下記のような場合、
キーワードの出現頻度はどうなるでしょうか。



「バッティング」というキーワードだらけだったら

各記事に「バッティング」というキーワードが入っていますね。
当然、キーワードの出現頻度が高くなります。

解析してみると、下記のような結果になりました。

URL		
タイトル要素	バッティングの上達法ナビ	
meta keywords	バッティング, 上達, コツ, フォーム, 練習	
meta description	バッティングを上達させるために、必要なこととは？ 練習方法からフォームについてまで、打撃を極めるための情報が満載！	
構成単語数	238	
総単語数	437	
出現頻度	1. バッティング 39 8.92% 2. 上達 11 2.52% ※頻出回数10回未満の単語を省略	

約9%の出現率

必ずしもペナルティを受けるわけではありませんが、9%は危険性のあるレベルだと思います。

じつは私もかつて、サイドメニューのキーワード出現頻度が高く、スパム判定を喰らったことがありました。

月に6～7万円稼いでくれる優良サイトで、Yahoo、Google とともに狙ったキーワードで1～3位あたりをキープしていました。

そこで、より収益をあげようとページ数を大幅に増やしたのですが、その際サイドメニューに各記事へのリンクを貼っていて、その各記事タイトルのほとんどにキーワードが使われていたんです。

当然、一気にキーワードの出現頻度が高くなり、1カ月もしないうちにGoogleで圏外に飛ばされました。

もともとキーワードの出現頻度が6%前後だったのが、
サイドメニューのキーワードが増えたことで、
一気に15%前後まで、増えていたんです。

サイト作成時に出現頻度のチェックをして問題なかったのに、
記事を追加したときはチェックをしていなかったんです。
気づいたときには手遅れでした。

サイドメニューを修正して1年以上経ったいまも圏外です……（涙）

このように極端に多すぎなければ心配は要りませんが、
念の為気をつけてください。

▼トップページ以外のページ

記事によって、キーワードの使用数は違いますので、
本当は各ページ、キーワードの使用頻度が高くないか、
チェックした方がよいです。

ただ、1つ1つURLをコピー&ペーストしてチェックするのは、
かなり手間がかかります。

そのため、私はトップページだけのチェックにしています。
各ページについては、記事を書いた見直しの際に
「キーワードは使いすぎていないかな？」と
目で簡単に確認する程度です。

▼キーワード以外の単語の出現率が高い場合

通常、キーワードはサイトタイトルに含まれていますし、
キーワードについての記事を書いているので、
キーワードが一番出現頻度が高い単語になります。

ただ、もしキーワード以外の
別の単語の出現率が高かったらどうするか？

もし「バッティング」ではなく、
「野球」という単語の方が出現率が高い場合はどうするか？

この場合も修正をして、出現頻度を減らしてください。

10%以上など極端に高い場合はサイト自体が
スパム判定される可能性があるのももちろんですが、
キーワードよりも使用回数が多いということは、
検索エンジンに「バッティング」よりも「野球」の方に
関連性が高いと判断されてしまいます。

当然「バッティング」と検索されても、
上位表示されにくくなるので、注意してください。

【すべてを終えたら】

サイトのチェックが終わりましたら、
サイトの作成は一旦完了となります。

引き続き、2サイト目の作成に取りかかってください。

そして、それと併せてやっていただきたいのが **SEO 対策** です。

SEO は作ったサイトの検索順位をあげたるために行いますが、短期間に一気にやってしまっってははいけません。時間をかけながら、ゆっくりやることが大事です。

ですので、2 つ目のサイト作成をしながら、じっくり並行して取り組むようにしてください。

SEO の手法については次章で詳しく解説をしていますので、引き続きマニュアルを読み進めてくださいね。